

WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



Weekly Report

VOL. 12 No. 37 TOTAL 512 平成 22 年 5 月 9 日 第 530 回例会

【例会日】 毎週月曜日 12:30~13:30
 【例会場】 和歌山市湊通り丁北2-1-2 アバローム紀の国
 【事務局】 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階(T640-8249)
 TEL073-435-3470/FAX073-435-3472
 E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/山田 茂 [会報委員]
 副会長/柴田 美和 ○栗山 久 ○新家 弘通
 幹事/中村 善夫 黒田 忠嗣 柳 あゆみ



2009-10年度
 国際ロータリーのテーマ
**ロータリーの未来は
 あなたの手の中に**
 RI会長 ジョン・ケニー

2009-10年度
 アゼリアロータリーのテーマ
『地域NO.1のロータリークラブを目指そう!』
 - 『和』・『楽』・『チャレンジ50』 -

＜本日の例会＞

■ 第 530 回例会 5月9日(日)
 ☆公開例会 * 5月10日(月)の例会を変更
 場所: 和歌山県立図書館 2F
 メディア・アート・ホール
 時間: 13:00~16:00

＜次回のお知らせ＞

■ 第 531 回例会 5月17日(月)
 ☆誕生会
 ☆クラブフォーラム
 「雑誌・広報委員会」

＜前回の例会記録＞

■ ロータリーソング 我らの生業
 ■ ゲスト紹介 米山記念奨学生 ワン・レンホーさんと
 和歌山県看護協会 会長 木村佐多子様
 ■ ビジター紹介
 ■ 出席報告 会員数44名
 本日の出席 (4/26) 30名 68.18%
 前々回修正出席 (4/12) 35名 79.54%
 ■ メイクアップ 役員及びクラブ行事へ 4名

＜四つのテスト＞

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか
 II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

●市内8ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	5月10日(月)	会員卓話
和歌山	5月11日(火)	外部卓話「新政権下の日本経済」
和歌山東南	5月12日(水)	会員卓話「地区WCS/リールへの貯水権寄贈プログラムに参加して」
和歌山西	5月12日(水)	地区協議会報告(各部門委員長)
和歌山東	5月13日(木)	
和歌山城南	5月13日(木)	外部卓話「熊野古道の魅力(仮題)」
和歌山南	5月14日(金)	卓話「規定審議会について」例会変更ルミメール毎月版
和歌山中	5月15日(土)	春の家族会(親睦旅行)長島温泉 奈良方面

会長報告



会長 山田 茂

みなさま、こんにちは！今日は、朝から素晴らしい青空が広がっています。今年は、本当に寒暖の差が激しく、毎日の服装や体調管理に大変な年です。先週の土曜日には、国木原ゴルフに於いて市内9RCのゴルフコンペが行われ、私も参加してきましたのですが、北風が強く本当に寒い一日でした。特に夕方以降は、真冬のような寒さで、思わず冬服を着てしまいました。先日、会社へ冬服を着て行った私は、女子社員から「もう、この時期に冬服は駄目ですよ、お洒落はちょっと無理しないと！」と言われたのですが、この年になると、やはりお洒落より暖かい方がいいですね。

さて、再来週の5月9日(日)は、いよいよ公開例会が開催されます。出席プログラム委員会井上委員長の今年度のメイン事業です。今日も例会の後、社会奉仕委員会を交えた合同委員会で、最後の打合せをします。当クラブにとって初めての事業でもありますので、成功に向けて、会員が一致団結して取り組んで頂きたいと思います。

ところで、次の田原年度もいよいよ本格的に、その準備に取りかかられたようです。特に次年度理事・役員予定者の皆様は、今年度の委員会事業も残っている中、組織作りや事業計画の立案等に大変忙しくされていることと思いますが、この6月末までにきちんと準備をして、次年度体制を整えさえすれば、後は勢いで流れて行くものです。また、会員の皆様におかれましても、色々な面で大変お忙しいでしょうが、“ちょっと無理して”今年度と次年度、双方のロータリー活動にご協力を頂きたいと思います。

では、4月20日(火)に開催された第10回理事・役員会について、ご報告いたします。

＜審議事項＞

- (1) 例会開催時間の変更について
 ⇒①5月24日(月)の例会をIDM開催の為、終了時間を14:00とする件
 ②5月31日(月)の例会を13:00で終了し、13:00から14:00の予定で、全員参加によるクラブ協議会を開催する件

⇒全会一致で、承認されました。

(2) 新入会員入会手続きの見直しについて

⇒推薦者～会員増強委員会～幹事～職業分類・
会員選考委員会とクラブ内での流れや、各委
員会の役割について、不明瞭な点や分かりに
くい点があったため、関係各委員会の意見を
聞いたうえで、理事会にて一部見直しを検討

⇒全会一致で、承認されました。

<協議事項>

(1) 職業分類の見直しについて

⇒職業分類・会員選考委員会加納委員長より、
新業種や時代に合わない職業分類等の見直し
案の提案があり、今後検討することになりま
した。

本日の会長報告は、これで終わります。

幹事報告



幹事 中村善夫

①4月21日にGSEのお世話いた
だいた、大野さん、田端さん、北畑
充香さん、お疲れ様でした。また、
鳥さんとわざわざご出席してい
ただいた鳥さんのご主人である社長さん、鳥さんの
会社の方々、いろいろとお世話いただき、ありが
とうございました。

②4月20日の理事会にて、新入会員の入会手続きの
見直しを行い、「会員推薦から入会までのフロー
チャート」を変更し、推薦者→会員増強委員会→
幹事→職業分類・会員選考委員会→担当理事（こ
こからは以前と同じ）へと入会手続きを経て行く
ことで承認され、新しい「会員推薦から入会まで
のフローチャート」の図を、本日会員皆様にポス
ティングさせていただいております。今後、この
入会手続きにて進めていただくようお願い致し
ます。

③本日の例会終了後、プログラム委員会、社会奉仕
委員会、青少年育成委員会、広報委員会の各委員
の方は、この場にお残りいただくようお願い致し
ます。公開例会の打ち合わせです。

幹事報告は以上です。

委員会報告

◎出席・プログラム委員会 委員長 井上晴喜



5月9日の公開例会のチケットを各
会員へ配布をされ、欠席することな
く、多数の出席を要望されました。

◎次年度組織表の発表 次年度会長 田原サヨ子



次年度の組織の発表がありました。

◎米山記念奨学会カウンセラー委嘱状の授与

次年度の田原会長より、次年度ロータリー財団・米
山奨学委員長の柴田美和会員へ米山記念奨学会カウ
ンセラー委嘱状の授与が行われました。



そして、柴田美和会員より米山記念奨学生 ワン・
レンホーさんの紹介をされました。

彼は、1982年8月20日生まれの27歳で国籍は、アメ
リカです。2009年4月から桃山学院大学の修士課程
に在学中で経営学研究科経営学専攻で日中連携ビジ
ネスコースの勉強をしています。彼は、日本語は、
不自由なく話せますので皆様からの声かけよろしく
お願いします。

そして、ワン・レンホーさんは、流暢な日本語で自
己紹介をされました。



◎ゴルフ同好会

貴志孝生会員



4月24日国木原CCにて開催された
市内9RCゴルフ大会へ4名参加し
ました。

参加者は、大田完治会員・當仲清孝
会員・山田 茂会長・貴志孝生会員
です。大田会員が、グロス78で、9位に入賞されま
した。

和歌山県看護協会事業「まちの保健室」事業について



木村 佐多子

社団法人 和歌山県看護協会

会長 木村 佐多子 様

皆様、こんにちは。和歌山県看護協会会長 木村佐多子です。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

和歌山アゼリアロータリークラブの皆様におかれましては、看護協会事業「まちの保健室」事業に対しまして多大なるご支援を頂いておりますこと心から感謝申し上げます。

さて、前回、ご説明させて頂きましたように、この「まちの保健室」事業は2001年、「地域の人々が心や身体についての様々な気付きや問題を気軽に相談できる場を地域に開設する」という構想の下、日本看護協会が、モデル事業を公募したのが始まりです。和歌山県看護協会は2005年に委員会を立上げ、「県民の健やかな暮らしを支え、あらゆる年代、あらゆる健康レベルの人々を対象に、様々な健康問題を気軽に相談できる場と看護相談機能の拡大」を目指して活動を始め、現在に至っています。

実際の活動に関しましては、定期開催は平成20、21年度ともメッサオークワ・ガーデンパークで下記の通り開催しています。協力員は毎回「まちの保健室」委員5名と、協会員である保健師・助産師・看護師数名と外部の栄養士1名を含めて総勢12~14名で担当しています。活動内容は健康相談や身長・体重・血圧・骨密度・体脂肪・呼気濃度等各種測定による健康チェック、データに基づく保健師による個別の生活指導、栄養士による栄養指導を実施しています。また、助産師による「妊産褥婦の保健指導」や「更年期相談」「ハンドマッサージ」「子育て相談」等も毎回開催しております。

1. 定期開催（各月の第3土曜日 13:00~15:00）

平成 20 年度		平成 21 年度	
開催日	参加者	開催日	参加者
7月25日(土)	13名	7月25日(土)	85名
9月20日(土)	115名	9月26日(土)	67名
11月15日(土)	76名	11月28日(土)	50名
1月17日(土)	61名	1月16日(土)	45名
3月27日(土)	69名	3月27日(土)	31名

(但し、20年度7月は看護協会の施設での開催です)

2. その他の開催

定期開催以外には、県や市、他団体のイベント行事での開催や、毎年看護週間行事（ナイチンゲール生誕日の5月12日を挟む週）においても、其々各地区支部で「一日まちの保健室」を開催し、多くの地域住民に利用されています。もう一つは、毎日新聞社からの依頼で「毎日ウイーク・インわかやま」で、

「まちの保健室」を開催し、双方とも地域住民の健康管理に大変役立っています。老人月間でも各地区支部で活動を行っています。

①「毎日ウイーク・インわかやま」での開催(10:00~16:00)

平成 20 年度		平成 21 年度	
開催日	参加者	開催日	参加者
10月19日(土)	203名	9月7日(土)	196名

活動内容は、健康相談、各種測定（身長・体重・血圧・体重・体脂肪・骨密度、ニコチン検査等）と共に、データに基づく保健指導・栄養指導の実施等です。

②和歌山県内8地区支部による開催

平成20年度は5月17日(日)、21年度は5月16日(日)に、8地区支部で（時間は3時間~5時間）それぞれ開催しています。活動内容は地域によって少し変わりますが、健康相談と各種測定（血圧・体重・体脂肪・腹囲測定等）、測定データに基づいての保健師による保健指導、栄養士による栄養指導、相談対応、グッズ配布等、地区によっては、ナース着用記念撮影（子供）や、認知症に関する講演等を行っています。また消防署との連携で「心肺蘇生法及びAED使用について」の講演を実施して、好評を得ている地区もあり、地域住民の健康管理に役立っています。

参加者数は、8地区支部で平成20年度の参加者は延べ1,167人、平成21年度の参加者は延べ1,418人で、協力員は地区の規模によって異なりますが10人~20人余りがでております。

尚、各種測定のための、使用機材は、協会揃えていますが、骨密度計は、高価なため、他施設の協力を得てその都度借用（2台）しています。

受領致しました支援金活用に関しましては、

①「まちの保健室」開催時に使用する「助産師コーナー」の轆の新調 = 17,850円

②県看護協会ロゴ入りのジャケット40着作成 = 77,700円

③イベント「毎日ウイーク・インわかやま」での「まちの保健室」開催時〈20年度、21年度〉のテント使用料 = 50,000 + 42,000 = 92,000円

④荷物運搬台車 = 7,770円

以上 合計 195,320円を使用させて頂きました。

今後も、「まちの保健室」活動を通して、だれでも、いつでも、どこでも相談できる場として、県民の健康づくりを推進するとともに、保健・医療・福祉の関係機関及び地域住民組織とのネットワークづくりに貢献して参ります。

改めまして、ご支援を心から感謝申し上げますと共に、今後とも、ご支援宜しくお願い申し上げます。最後になりましたが、和歌山アゼリアロータリーク

ラブの今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を心から祈念いたします。

内部卓話

「自己紹介」 北畑充香会員
卓話を依頼されまして何をお話させて頂いたら解らず、いまさらながらですが自己紹介させて頂きます。1972年12月26日生まれの37歳です。幼少の頃は控え目で一人旅を楽しんでいましたと言っても夏にコーヒー牛乳を自分で作り生温いまま水筒に入れ知らない道を自転車で探検し喉が渴けば生温いコーヒー牛乳を飲んでいました。小学校では体育や音楽、図工が好きな少女でした。高学年になるといじめにあいましたが何とか耐える子供でした。そのうちいじめ子は転校したため一時期で済みました。中学生になると軟式テニス部に入り厳しい先輩に囲まれ技術はもひとつでしたが最後まで頑張りました高校に上がると、中学生で厳しい環境でしたので高校はとても楽しい時代でした。硬式テニス部に入り経験者でもありましたのでまああの成績でした。

和歌山ミニ国体で伊達公子が来た時ボレーをしました。その時から実力はずば抜けて違いました見とれるぐらいに違いました世の中にはこんなに強い選手がいるのだとびっくりしました。

…まあ一番何も考えず身体を動かして健康な生活を送り痩せていて一番モテた時期でした。三年間無事に過ごし、そして専門学校へ進みました。こうみえても栄養士なんです。毎日5時に起きお弁当を作り6時30分には家を出て大阪まで通っていました。帰りはラーメンを食べたりたこ焼きを食べたり楽しんでいました。

自分にとって役立つ事は何かと考え勉強はもうひとつだし一生食べる事は変わらないので、調理師ではなく栄養士を選びました。

おかげで知らない事もありますがひと通り出来るようになりました

ここまでは普通の人生でした就職活動を和歌山で電話帳で給食会社を探し南陽食品に就職しました。何もかもはじめてで自分に出来るのか不安な毎日を過ごしていました。

しかしいろんな試練を乗り越えると何でもできる気になり頑張っていました。そして私の人生の転換期になります。それは結婚です。上司だった主人は何を思ったのか13歳年下の私を選び現在に至っています。仕事は受託給食です。社員食堂、病院給食、老人ホーム、学校給食と人材と食料を搬入しその場でお食事を作らせていただく会社です。厳しい時代でおべんとうもしていましたが、コンビニや価格競争

で難しくなり今はしていません。

県外業者もどんどん入ってくる中なんとか頑張らせていただいています。ちょっと変わっている主人ですが20歳から私に色々経験させてくれました。おかげでこんなに成長致しました。まだこれから私の人生わかりませんがしんどい事がどう乗り越えられるか、強い人間になれるか試されている間頑張っていきたいと思います。最近自分はもっと強いと思っていたのですが思いがけず弱い自分を知りました。いい機会だと思いがいています。皆さん私が元気ない時はもがいていると思ってください。

毎週例会で皆さんにお会いすると皆さんそれぞれ大変なことも難しい事もあると思いますが頑張っている姿を見ると元気になります。ですから皆さん元気で私の為に頑張ってください。よろしく願いいたします

GSEメンバー受け入れの報告

◎世界国際交流委員会 委員長 大野治朗

当クラブでは、4月21日(水)に受け入れの担当となり、GSEメンバーの方々と、鳥製作所の工場見学のあと和歌山東南RCの例会へ出席され、終了後フォルテワジマにて、シャツ手作り体験や温泉体験をされました。そして和歌山ビック愛 12階 ステラマリス において夕食会を開催しバナー交換をいたしました。



S・A・A報告 【3つの箱】

*ニコニコ箱

神谷ガバナー補佐 GSEの皆さんと夕食の懇親会でいただいた分です。

中村善夫会員 GSEの受け入れでは、島さん大変ご協力いただき、ありがとうございます。

柴田美和会員 ワンさん、今日はお越しいただいてありがとうございます。一年間よろしく願い致します。

太田完治会員 「まちの保健室」木村会長様、今日は卓話よろしく願いします。

本日合計額 11,000円 今年度累計額 1,144,000円

*ロータリー財団

中村善夫会員 太田完治会員

本日合計額 3,000円

*米山奨学

中村善夫会員 太田完治会員 柴田美和会員

本日合計額 6,000円